

かやぶんミニ★ニュース 9月11日(土) 紙すき体験

今回のイベントには、身延町の西嶋和紙の里から、紙すきの職人さんが講師として来ていただきました。まずは、紙の原料について説明していただきました。写真で講師の先生が持っているのが、紙の原料である「楮こうぞ」です。



体験では、まず、画用紙大の大きさの和紙を漉きました。網が張られている木枠に、原料を流し込んでもらいます。そして、木枠を動かして漉いていきます。大きな木枠は、小さな子ども達にはちょっと重かったかな？原料が垂れなくなったら、机に移動して、色のついた原料で絵や文字を書いたり、折り紙や押し葉を載せてオリジナルの和紙を完成させます。

続いて、ハガキの大きさの和紙を、一人2枚ずつ漉きました。こちらの原料は楮でなく、書道用紙などに使われる、藁・三楮みつまた・パルプを原料とした溶液です。楮よりしっかりとっていて、色も白くみえます。

紙すき体験が初めての子が多かったのですが、みんな、楽しみながらとても素敵な作品を作ってくれました。



明野町民俗芸能保存会 第1回伝統芸能研修会

明野のお神楽

日時：平成22年10月24日(日)

午前10時～午後3時半

(休憩時間：12時～12時40分)

※開催時間中、自由に入退場が出来ます。

場所：明野総合会館 多目的ホール

入場料：無料

内容：

北杜市明野町の6つの神楽保存団体が構成される「明野町民俗芸能保存会」主催の催し。祭りで、一日かけて奉納される舞の多くを、それぞれの神楽保存団体が担当し、舞を披露します。6つの神楽保存団体が一堂に会して舞を披露することは、滅多にありません。8年目を迎えた「こども神楽教室」の子ども達も、舞を披露させていただきます。

問合せ：

事務局 NPO法人茅ヶ岳歴史文化研究所
(0551-25-2019)

＝ご寄付＝

五味 和子様 誠にありがとうございました。

＝会員募集＝

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動して下さる方、ご賛同いただける方を募集しています。

こんなことをやってみたい人は、ぜひ!

- 歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
- 活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
- イベントを通じてさまざまな人と交流したい

入会金：1000円 年会費：1000円

＝編集後記＝

先月までの暑かった日々が嘘のように涼しくなり、めっきり秋めいた風が感じられるようになりました。急な気温の変化に、体調を崩されないようお気をつけ下さい。

第14回企画展、「食の歳時記」が9月30日で終了いたしました。たくさんの方々にお越しいただき、ありがとうございました。次回企画展もどうぞお楽しみに。

もうすぐ、今年も子ども神楽教室が始まります！今年の秋は芸能の秋。神楽にチャレンジしてみませんか？

かやぶんかわら版 第64号

平成22年9月30日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所(かやぶん)

〒408-0204 北杜市明野町上手8310
明野歴史民俗資料館内

TEL/FAX 0551-25-2019
ウェブサイト <http://www.kaya-net.jp>
E-mailアドレス info@kaya-net.jp